



第2号様式（第6条関係）

SDGs おおたスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGs の内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGs の推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日>2025年10月5日

事業者情報		
事業者名		合同会社 作太郎の休日
代表者 職・氏名	職名	代表社員
	氏名	平林 貴男
ホームページ URL (任意)		https://diy-sakutaro.com/
事業者ロゴ (任意)		

事業者としての2030年のあるべき姿

(SDGs) ○12・・「作る責任・使う責任」

私たちは東京都が2019年12月に策定した「プラスチック削減プログラム」において、2030年までに家庭と大規模オフィスから40%削減する目標の実現に向けた大田区の取り組み(SDGs)の、一環としての先進企業を目標にしています。

上記ロゴの様に、誰からも理解出来目に見えると思いますが、区民のDo it yourself 各自の手から3R(修理再利用寿命延長ゴミ削減)活動を大田区の文化として発芽させ、「使う責任」を実現していく将来構想です。

「SDGsを区民の手文化でつくる大田区」、とし他県でも参考になる発信と東京都の焼却による140万トンのCO2削減また大田区のゴミ削減(処理費用)にも寄与します。

追記・・業者としての2030年のあるべき姿実現のための・・本件弊社の申請目的に付いて・・

- ① 申請の目的は自社内をSDGs化する事ではなく、積極的に大田区のSDGs推進を大田区の人々各自でも活動が出来る3R(修理再利用寿命延長ゴミ削減)に取り組める為の具体的提案です。
- ② SDGsは未来社会への取り組みの問題で、この弊社アイデア製品のPRにおいて設置や拡散は、「あつたらしいな！とても良いアイデア！」と多くの方々から賛成を頂きますが、商品として自分に利のないSDGs(社会目標)を個人では買わない。各個人ではSDGsの為に私費を投じる事は有りません。行政と弊社が先陣を切って積極的に大田区の文化として発芽させて頂きたいと思います

本件申請は大田区行政の多大な協力やお墨付きを頂くことで、この事業を更に色々な方に見て頂くきっかけになり、各近隣の行政や幅広い不動産関連企業の参画また集合住宅での合意形成を得る為のToolとするもので、行政の積極的応援援助活動が実現に向けた歩みを着実にします。

これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17のゴール・目標（複数選択可）
 (これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●)

					
					
				●	○
					

目標の達成に向けた取組内容等

関連するゴール の数字を記入 (複数記入可)	これまでの取組内容	これからの取組内容
12	首都圏 タワーマンション&管理会社にDM 及び訪問営業 商品開発	継続 ・・3Dプリンター・・試作
12	社員寮 DMにてPR 米駐留軍基地 PR	継続 継続
12	東京新宿 東京アップグレードスクエアより全国都道府県担当者に面談 PR	継続
12	東京有楽町 東京イノベーションベースより主にスタートアップメンバーにPR	継続
12	東京田町 港区立産業振興センター スタートアップ ピッチ登壇	継続